

「ジャパン・フェスティバル」を終えて

春恒例のブダペスト・スプリングフェスティバルの一環として、今年も、日本・ハンガリー友好協会（会長：河野洋平衆議院議員）と当地国際文化協会の共催により「ジャパン・フェスティバル」がブダペストや地方5都市において3月17日より3月30日まで開催されました。

このフェスティバルは、1986年にハンガリーより多数の文化人や芸術家を招いて日本で開催されたブダペスト・フェスティバルにつぐ、両国交流フェスティバルです。

今回日本からは、河野会長が3月25日から27日まで来洪されたほか、東京ゾリステン室内合奏団、森英恵（ファッションショー）、日高毅（バイオリン演奏）など多数の著名人もフェスティバルにご参加くださいました。

（大使館 大久保）

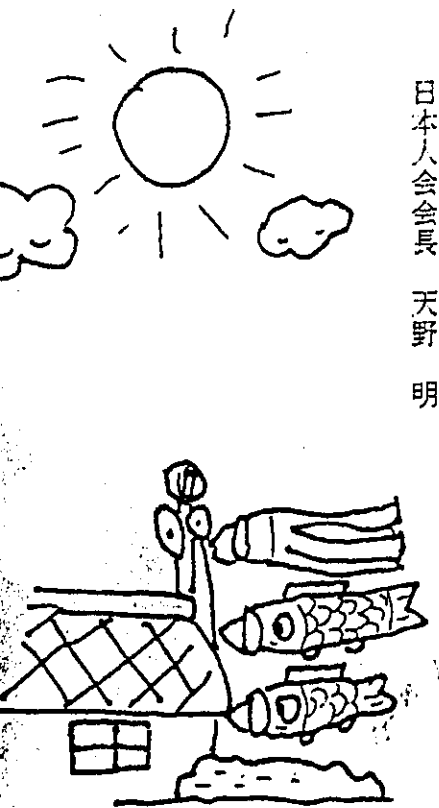
一九九〇年日本人会行事予定

- 二月四日 第一回映画大会（演る）
- 五月二七日 遠足
- 六月中旬 第二回映画会
- 七月一五日 運動会
- 十月 第三回映画会
- 十二月一日 日本人会総会
- 寿司大会

右記に適宜新しい活動を加えていきたいと思っておりますので、アイデアをお知らせ下さい。

尚、日航ウィーンへの新着フィルムの入荷が五月末になりますので、第二回映画会は六月中旬に開催致します。今暫くお待ち下さい。

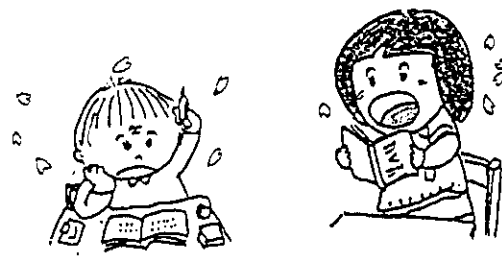
日本人会会長 天野 明



大使館からのお知らせ

チエコスロバキアにおいては、四月一日より外国人（長期滞在者を除く）に対する自動車燃料の販売をこれまでのチエコスロバキア通貨から外貨支払いのクーポン券によることとしましたので、ご旅行の際はご注意ください。クーポン券は国境の両替窓口、及び主要な銀行、ホテル、旅行代理店において購入出来ますが、券は五リットル又は十リットル単位で強制交換金額は含まれず、返納不能です。

A	Angola Argentina Australia Austria	B
D	Denmark	E
F	Federal Republic of Germany Finland France	G
H	Hong Kong Hungary	I
J	India Iran Iraq Israel Italy	K
L	Lesotho	
M	Canada China Colombia Cuba Czechoslovakia	
N	German Democratic Republic Great Britain Greece Guinea	
O	Japan	



補習校だより

3月31日に初の小、中学部を通しての卒業生を見送り、4月7日に6人の新入生を迎え、またまたにぎやかな毎日が始まりました。補習校に入学したくてたまらなかつた子。もう、嬉しくて嬉しくて眠れない子。色々な楽しいエピソードが保護者の方々から聞かれます。在校生も、一学年ずつ進級して、いっそう類もしくなってきました。現在、新学年の学習に取り組んで皆頑張っています。また、3月5日には大使館主催の「子供の会」に参加させていただいたこともあって、教師ともども、はりきって日々を過ごしています。

端午の節句の集い

五月五日（土曜日）、在ハンガリー日本国大使館の主催で「端午の節句の集い」が同大使館で行われました。午前十一時過ぎ、補習校の飯田先生の司会で「集い」は進行し、日本国大使の御挨拶で開幕しました。外国ではなかなか体験できない鯉のぼり高揚とともに、参加児童が「鯉のぼり」等の歌を元氣よく合唱しました。次に、お餅つきの実演が行われました。最近では本国の家庭でも市販か、機械で作ったお餅になってしまいましたが、ここでは臼と杵を使っての本格的な餅つきを見ることができました。トルク、バートリント小学校のキシユ先生と児童の皆さんも「集い」に参加され、ハンガリーの方々にも餅つきを実際に体験していただきました。つけた餅はお母さん方がわざわざおいしくいただきました。昼食をすませてからは、空手と剣道の実演が山地先生の解説付きでありました。子供たちはこれにも元氣に参加し、順番を待つ行列が出来ました。初めて握る竹刀にふらふらする子、勇ましく立ちむかう女の子等いろいろでした。

人物往来

◎藤原 邦晃(くにあき) C・I・B

ハンガリーでの生活を満喫したいと思っています。皆様宜しくお願い致します

◎辻村 貴彦(よしひこ) 丸紅

今回が初めての海外駐在で、着任以来、緊張の連続です。せっかくの機会を生かす為にも、ハンガリーでの生活を積極的にエンジョイしたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。(精密化学品第一部出身・趣味 スポーツ、ドライブ)

尚、次の方々も最近着任されました。

◎高橋 恵(けい) 丸紅

食品部出身で、ゴルフとオペラ観賞を趣味とされています

◎島崎 雅夫 読売新聞

京子

裕介(六才)

阿美(二才)

◎西川 康志 N・E・C

◎武井 啓次 日本大使館

郁美

◎折原 晃子 欧州エクस्प्रेस・ハンガリー

今年一月にブダペストに赴任してきました。

欧州エクस्प्रेसの折原晃子と申します。当社は旅行の手記会社で、主にヨーロッパ、アジア、オセアニアで日本からの団体旅行者のお世話をしています。

東欧、特にブダペストは、豊富な観光資源を持ちながら、あまり知られていなかったために訪れる人も大変少数でした。しかし、ここ一年、脚光を浴び、旅行者は他に例を見ない勢いで増加しています。

こういった中で、日本の旅行者と現地の旅行者との間を取りもって安心な旅行を提供できるように努力していく所存であります。全くの一人で行任してきましたので、電話取り、手紙書きから、必要なことをすべて一人で行っていきます。

休みの日も身軽です。今後ともご指導、そしてお付き合いのほどよろしくお願い致します。

それにしても、ものごとが思ったように進まないのは想像以上です。日本とハンガリーは共通点が多いと聞きますが、ギャップが大きいだけに小さな点がクローズアップされるのではないだろうかと思うこともしばしばの毎日です。

最近帰国された方、ちかじか帰国予定の方々は次ぎのとおりです。

◎野原 茂 C・I・B

◎田端 利朗 丸紅

◎岡 義清 日商岩井



鈴木孝夫 著 「日本語と外国語」

(1990年 岩波書店)

何年か前に同じ「岩波新書」から「ことばと文化」を出した著者の今回の本は、出版社の紹介文によりますと、「興味深い例を豊富に上げながら、国による文化、価値観の違いを語るとともに、漢字の知られざる利点に光を当てて日本語の長所をも浮き彫りにする。真の国際理解を進める上での必読の、ことばについてのユニークな考察」であるとのこと。尚、同新書には、チエコ出身のオーストラリアの日本学者、ネウストプニーが書いた「外国人とのコミュニケーション」と題する関連本もあります。(がと)

日本人会主催遠足のご案内

昨年はバスブレイムで動物園を見物し、エールドでは咲ん坊狩りを楽しみました。今回は左記の計画を立てています。より一層の親睦を深めるためにも奮って御参加下さい。

- (一)日時 五月二七日(日曜日) 九時 出発
- (二)行先

ケチケメート 玩具博物館・市庁舎見学

ラヨシュミジエ ホースショー・グヤーシュ

パーティー(昼食)

- (三)会費 大人 一五〇〇フォリント(一人)

子供 八〇〇フォリント(一人、但し食事をとる子供のみ)

詳細は案内書を発送いたしますので、ご覧下さい。尚、本件に関するお問い合わせは、森井(電話 自宅 一一六三一五四三・会社 一三八四一三五七)、又は盛田(一五六四一五三三)までお願い致します。

(参考)

ケチケメートは首都の南、ドナウとティサ川に挟まれた地域にある、人口十万余の町です。バーチ・キシュン県の県庁所在地でもあり、同市の北西にあるラヨシュミジエも同じ県の町

です。町の名称の起源ははっきりしませんが、ヤギ (k e c s k e) という語に由来しているとする説があります。

かつての主要街路というのは、ナジコヨリヨシ通り (Nagykörosi utca) で、鉄道駅(郵便局有り)からは、散歩道を通過してすぐ達することができます。散歩の途中、駅の近くには同県を代表するカトナ・ヨーージェフ博物館があり、この地方の考古、民族、歴史に関する展示品を見ることができます。町の中心にあるコシュット広場にすれば、市庁舎は目前です。近くには教会がいくつもあり、又このあたりから歩いて数分のところにコダーイ音楽研究所(ここで日本の学生も学んでいるはず)です。一九七九―八一年に建設された玩具博物館などがあります。

編集後記

次号、第六号は九月中旬に発行予定です。「ドナウ通信」への御意見、御投稿等お待ちしております。

宛先(連絡先)

AMANO Akira

又は SENG A Toru (編集)

c/o Toyo Menka Kaisha, Ltd.

H-1126 Budapest

Királyhágó utca

5/B. IV/3

(私書箱)

BP. 1531 P. F. 11

TEL: 156-2794,

175-1481

FAX: 156-3252

発行責任者 天野 明(日本人会会長)

掲示板

◎ アパートを捜しています。二、三部屋、電話付き、二区か十二区の緑地帯が希望です。中古家具(机と椅子、テーブル、寝台)も譲って下さい。折原晃子 (電13581735)

◎ 6月上旬、リスト音楽院リサイタルホールで稲谷寿紀さんが次の曲を演奏される予定です。シューベルト「ソナタ」、3つのピアノ曲「シューマン「幻想曲」。

日本人補習校 飯田 信夫
創刊号から四号まで編集をしてまいりましたが、会報も軌道に乗り、日本人会の中に編集部ができ、また、補習校での仕事が大変忙しくなったこともあり、今号より新編集者に仕事を委ねることといたしました。これからは一読者として応援させていただきます。